

2024 年 12 月度理事会 議事録

1. 開催日時 : 2024年12月23日 (月) 16時~18時
2. 開催場所 : 〒108-0023 東京都港区芝浦3-1-1 msb Tamachi 田町ステーションタワーN 26F
サトーホールディングス株式会社 会議室
3. 出席者 : 高島代表理事、佐々島理事、佐藤理事、本宮理事、田中幹事
事務局メンバー) サトーホールディングス株式会社 宇敷様、
王子タック株式会社 高橋様、大阪シーリング印刷株式会社 大橋様、
リンテック株式会社 加瀬様 (記)

4. 議 案 :

<審議①> 埼玉県サーキュラーエコノミー推進分科会への参画について (高島代表理事) >

埼玉県を中心とした企業で 210 社、団体としては 17 団体が加盟している。埼玉県としては、設備投資に対する助成金を確保しており、サーキュラーエコノミーの活動に関しても、助成金を出してもらえる可能性がある (川崎様からの情報)。助成金が出るのであれば、課題である剥離紙回収の加工費などに充てたい。埼玉県としては、剥離紙回収が円滑に進むと、県内の産業廃棄物が減るメリットがあると想定される。剥離紙回収に対して、助成金を出してもらえるか確認するため参画を希望。参画に費用は掛からない。

- ⇒埼玉県以外に、東京都など影響力が大きい自治体が無いのか。(佐々島理事)
- ⇒調査必要だが、埼玉県は特にサーキュラーエコノミーに力を入れている。(高島代表理事)
- ⇒自治体の場所は排出元にメリットがでる。東京都は排出元が少ない。(佐藤理事)
- ⇒助成金の可能性を調査するため、埼玉県の分科会にエントリーする。1 月に総会あり。(理事一同)

<審議②> 豊島フィールドツアー旅程について (高島代表理事) >

過去の環境課題を知り、環境を意識した未来に繋げていくことを目的にツアーを予定。豊島には船でしか行けず、1 日に 4 便しかないので、日帰りを前提にするとチャーター船となる。島内の移動は、バスを借りることを想定して見積りを取得 (11 名での見積り)。過去の不法投棄現場をなどの産廃見学ツアー、美術館を回る予定 (3 月 17 日予定)。協会として 30 万程度負担したい。

- ⇒高松港までの移動費用は各社で負担して頂く。それ以降は、協会で負担する。どのくらい集まるか確認するため、会員に募集をかける。人数で変動するが、協会費用として 30 万程度あてる。(理事一同)
- ⇒1 月初旬に案内を出す。1 月下旬の締め切りでアナウンスをする。(高島代表理事)

<剥離紙トレースの中間報告 (宇敷様) >

トレースの実証検証として、排出企業から出た剥離紙について、山田洋治商店様、日誠産業様、東京資源様で受け入れ済み。山田洋治商店様では、3 回受け入れて、2 回出荷している状況。

一方、東京資源様、日誠産業様では、11 月末~12 月初旬に剥離紙を受け入れしているが、まだ出荷している実績がないので確認する必要がある。その他、トレース管理のスキャン時に、誤動作した際にリカバリーが利かないため、今後、リカバリーができるように改善策を検討する。

- ⇒粉碎する工程で、ボールが分かれる可能性有るが、どう管理しているのか。(佐々島理事)
- ⇒別れた場合の管理に関しては、今後の検討事項。現在の状況としては、まだボール化しておらず、保管している。出荷に時間がかかっている理由としては、中芯原紙をつくるタイミングが決まっており、そのタイミングに合わないため、保管されている可能性が高い。(宇敷様)

<前回試作した印刷サンプルについて (宇敷様) >

リサイクル剥離紙を用いたラベルの印刷サンプルが、サトーに段ボールで 6 ケース、大阪シーリング印刷にも数種類数十巻ある。活用方法やサンプル必要かについて協議。必要無ければ処分予定。

- ⇒各社展示会でうまく活用する。必要数量を宇敷様宛に連絡する。(佐々島理事、本宮理事)

<村田製作所様から排出される剥離紙について (本宮理事) >

村田製作所から排出される剥離紙に、ラベルの混入が多いため、日誠産業が困っている。芯部側に残るラベルは、除去の処理をしてもらっているが、混入しているラベルを取る作業が課題。

⇒実態を日製産業様に確認し、村田製作所様に対応して頂けるよう調整する。（高島代表理事）

➡既に改善いただけている事を確認できました。（12月24日）

<討議③> 25年度事業計画について（高島代表理事）>

25年度の事業について、取り組み内容を議論したい。1月の理事会で見積もりを確認し、2月に来年度予算を確定する流れで進める。

○リサイクル剥離紙使用の認定化プロジェクトについて

⇒具体化の提案をすぐに出すのが難しい。3月から4月を目途に案を出す。現時点では、予算の必要性は、無いと考えている。（佐々島理事）

○HPの維持費用

⇒必要。前回、費用は頂いたので25年10月までは必要ない。（大橋様）

○広告宣伝費

⇒業界新聞、環境新聞、食品、自動車業界誌なども良い。（佐々島理事、本宮理事）

⇒PRtimesの予算化はどうか。（高橋様）広告宣伝費として100万予算に入れる。（理事一同）

○リサイクル先が確認できるアプリの作成費用

⇒リサイクルをスムーズに進めるために、排出元の住所を入れたら、最寄りのリサイクル先がわかるようなアプリを作るのはどうか。リサイクル先を追加していくことで、使いやすくなるのではないかと。（佐藤理事）

⇒必ずしも近いところで回収するわけではない。回収ルートがある場合は、近場での回収とならないため、排出元に対しては、その部分を理解して頂く必要あり。（佐々島理事）

⇒運送がネックになるため、ルート計算やCO2算出に使用できる可能性もある。（佐藤理事）

⇒HPの検索機能として備えたら使いやすい。外部でも良いので見積りを取る。（佐藤理事）

⇒現在検討している剥離紙リサイクルボックス設置と組み合わせれば、効果が高くなる（高島代表理事）

○広告宣伝として、ノベルティー

⇒剥離紙のリサイクルを知ってもらうために、宣伝用ステッカーなど作るのはどうか。（佐々島理事）

⇒トイレトペーパーやポケットティッシュなども良い。（本宮理事）

⇒坪野谷紙業様で対応してもらえる可能性もある。費用対効果を考えて継続協議する。

○名刺について

⇒J-ECOL名刺作成をどこまでの会社やメンバーを対象とするか、今後協議が必要。（佐々島理事）

○第2回のトレース実証実験のアプリケーション費用

⇒最終的な運用モデルとして、トレース以外に、リサイクルも含めたCO2排出量の可視化したい。それを念頭においた見積もりを取る。120万程度を想定。（宇敷様）

⇒履歴が残れば、段ボール数量のエビデンスが取れるため、回収業者から排出企業様への加工費請求のエビデンスとして活用できるのではないかと。（宇敷様）

⇒小口対応の費用（保管費、加工費）に関しては、各回収業者様にヒヤリングしている。（宇敷様）

⇒アプリケーション費用について、見積りとりを進める。トレースやCO2の可視化以外で、データ活用の幅があるか、提案をもらいたい。（高島代表理事）

○情報共有会の頻度と勉強会について

⇒会員への提供価値として、GHGに関する勉強会や有識者のセミナー等を予定する。来期の情報共有会は年2回とし、勉強会を年2回入れる。（理事一同）来期のスケジュールを作成する。

○今後の情報共有会の開催場所について

⇒2/14は、通常総会16:00～、情報共有会が16:40～17:40まで。懇親会は18:00～を予定している。（高島代表理事）

⇒国際フォーラムの会議室を15:00～18:00まで、同じ場所でケータリングできるか確認する。（高島代表理事、大橋様）

○圧縮梱包機

⇒平和島に会社あり。剥離紙のみの圧縮は難しい。サーキュラーエコノミーの補助金の対象になるか。費

用は 350 万程度。継続して調査する。（宇敷様）

○剥離紙のリサイクルボックスを予算化するか。

⇒近隣の排出元からリサイクルボックスに剥離紙を持ち込んでもらう。その後の送料等の費用については協会で持つのはどうか検討。（高島代表理事）

⇒協会で運送費や加工費を負担すると、法律に抵触する可能性がある。運賃元払い宅配で古紙会社へ段ボール箱に詰めて送ってもらう用の段ボール箱であれば会員へ無償提供はできるのではないか。

王子グループ段ボール会社での例えばの価格見積もりを取ってみる。（佐々島理事）

⇒回収に対しては、段ボール箱の費用よりも、輸送費や加工費がネックになっている。（高島代表理事）

⇒リサイクルボックスから、最寄りの古紙業者に持っていく費用はだれが払うか？（佐々島理事）

⇒リサイクルボックスから、古紙業者への輸送費と、加工費については、無償で対応してもらえないか古紙業者さんに交渉をする。他の手段として、リサイクルボックスを設置する会社で輸送費の負担ができないか。費用負担に賛同して頂ける会社にボックスを置く方向で計画する。法律上は剥離紙を持ち込んでもらえれば問題無し。まずは、上記対応問題無いか泉弁護士に確認する。（高島代表理事）

以上